

# 「河川LPデータ」の管理業務について

中部技術事務所

## 【はじめに】

中部地方整備局（河川部）では、主として一級水系における様々な国土情報を得るため、公共測量（河川航空レーザ測量等）を実施しており、その成果は、「公共測量データベース」として国土地理院のホームページでデータの公表がされています。公共測量成果の中でも、利用者の多い「基盤地図情報データ」については、皆さまへのデータのご提供が可能な様、国土地理院のホームページで、誰でも閲覧やダウンロードができるようなシステムも構築されました。

公共測量データのご使用にあたっては、測量法により、使用者から測量を実施した機関に「使用申請」を提出して承認等の手続きが必要となりますが、これも迅速な対応が可能な様、国土地理院のホームページを利用することで、電子メールでの使用申請（測量成果ワストップサービス）ができるようになり、使用承認書も電子メールの返信だけで早くて簡単に済むようになりました。

特に、河川航空レーザ測量（レーザプロファイラ）における成果は「河川LPデータ」と略称しており、近年「浸水想定氾濫区域図」や「洪水・内水ハザードマップ」等、様々な用途に用いられている利用頻度の高い数値地図データです。測量計画機関である中部技術事務所（環境共生課）では、本局河川部河川計画課と連携して、中部管内の「河川LPデータ」を整備して管理していますが、管理データには、国土地理院に登録されていない「オルソフォトデータ、オリジナルデータ、グラウンドデータ、グリッドデータ等」があり、これらのデータを必要とされる多くの皆様への「使用申請」から「データ提供」までの相談窓口を含む管理業務を行っています。

ここでは、中部技術事務所として「河川LPデータ」を利用される皆様向けに、利活用方法を含めた一般的手法の普及促進や技術力の向上、様々な分野への利用促進提案を含めた最新情報等について逐次皆様へ情報発信したいと考えています。